

2009年3月期 決算説明会

2009年5月14日

前田建設工業株式会社

【目次】

． 09.3月期の業績	・・・ (3)
． 中期経営計画と重点実施施策	・・・ (10)
-1 ． 建築重点実施事項について	・・・ (13)
-2 ． 土木重点実施事項について	・・・ (18)
． 環境経営No.1への取組み	・・・ (21)

. 09.3月期の業績

連結経営成績（前年同期比較）



（単位：億円）

	08.3月期 実績		修正計画 (09.2.10) (b)	09.3月期 実績		前期比 増減 (c)-(a)
	(a)	(%)		(c)	(%)	
売上高	4,774	100	4,100	3,924	100	850
建設事業	4,288	89.8	3,670	3,547	90.4	741
その他の事業	485	10.2	430	376	9.6	109
売上総利益	233	4.9	293	301	7.7	68
建設事業	168	3.9	221	230	6.5	62
その他の事業	64	13.2	72	71	18.9	7
一般管理費	276	5.8	248	251	6.4	25
営業利益	43	0.9	45	49	1.3	92
経常利益	23	0.5	40	39	1.0	62
当期純利益	458	9.6	14	26	0.7	484

連結の種類別セグメント推移



(単位:億円)

		(2005.3)	(2006.3)	(2007.3)	(2008.3)	(2009.3)
売上高	建設事業	4,188	4,307	4,356	4,288	3,547
	その他の事業	449	412	424	486	376
	合計	4,637	4,719	4,780	4,774	3,924
営業利益	建設事業	92	77	10	47	41
	その他の事業	2	9	17	11	19
	(消去)	(1)	(8)	(7)	(7)	(11)
	合計	92	78	20	43	49

連結財政状態（前年同期比較）



(単位:億円)

	08.3月期 実績 (a)	09.3月期 実績 (b)	前期比増減 (b)-(a)
流動資産	2,727	2,654	72
固定資産	1,804	1,589	214
資産計	4,531	4,244	286
流動負債	2,203	2,124	78
固定負債	983	895	87
負債計	3,186	3,019	166
純資産	1,344	1,224	120
負債純資産計	4,531	4,244	286

個別経営成績（公表値比較）



(単位:億円)

	08.3月期 実績		修正計画 (09.2.10)		09.3月期 実績		増減額 (c) - (b)
	(a)	(%)	(b)	(%)	(c)	(%)	
完工高	4,177	100	3,600	100	3,458	100	142
建築工事	2,447	58.6	2,355	65.4	2,264	65.5	91
土木工事	1,731	41.4	1,245	34.6	1,194	34.5	51
完工利益	161	3.9	226	6.3	237	6.9	11
建築工事	80	3.3	142	6.0	149	6.6	7
土木工事	81	4.7	84	6.7	88	7.4	4
一般管理費	215	5.2	186	5.2	189	5.5	3
営業利益	54	1.3	40	1.1	48	1.4	8
経常利益	35	0.8	30	0.8	33	1.0	3
当期純利益	455	10.9	6	0.2	17	0.5	11

個別財政狀態（前年同期比較）



(單位:億円)

	08.3月期 実績 (a)	09.3月期 実績 (b)	前期比増減 (b)-(a)
流動資産	2,502	2,404	98
固定資産	1,514	1,301	212
資産計	4,017	3,705	311
流動負債	2,004	1,991	12
固定負債	939	760	178
負債計	2,943	2,751	191
純資産	1,073	954	119
負債純資産計	4,017	3,705	311

09年3月期受注の内訳



	受注高 (億円)		前期比 増減
国内	建築	1,625 (2,112)	487
	土木	851 (890)	38
		2,476 (3,002)	525
海外	建築	18 (30)	12
	土木	61 (100)	39
		79 (131)	51
合計	建築	1,643 (2,143)	500
	土木	912 (990)	77
		2,556 (3,133)	577

カッコ内は08年3月期実績

	国内受注高 (億円)		前期比 増減
国内官庁	建築	96 (125)	28
	土木	554 (603)	48
		650 (728)	77
国内民間	建築	1,528 (1,987)	458
	土木	297 (286)	10
		1,826 (2,274)	448

カッコ内は08年3月期実績

・中期経営計画と重点実施施策

中期経営計画の柱

改革を継続する企業
ものづくりを基盤とするサービス企業
CSR経営に徹する企業

2009年度 重点実施事項

2008年度 重点実施事項

低採算工事との決別

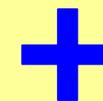
(選別受注の徹底)

マネジメントの効率化

(一般管理費の削減)

企業価値の向上

(B / Sの改善)



環境経営

業績数値の実績と見込み



(単位:百万円)

(連結)	08.3月期 実績	09.3月期 実績	10.3月期 見込み
売上高	477,475	392,462	370,000
一般管理費	27,695	25,142	22,100
営業利益	4,372	4,968	4,400
経常利益	2,311	3,912	3,700

(単体)	08.3月期 実績	09.3月期 実績	10.3月期 見込み
売上高	417,761	345,870	320,000
一般管理費	21,528	18,952	16,000
営業利益	5,425	4,845	4,000
経常利益	3,506	3,325	3,000

- 1 . 建築重点実施事項について

公共工事

今後、大幅な追加経済対策と公共設備投資拡大の可能性
(公共施設の耐震化・改修工事・環境関連事業等への補助金交付の拡充)
総合評価方式の導入が中央官庁から地方自治体へ拡大

民間工事

住宅需要は全体的に低迷するが、大手商社、財閥系デベロッパーを中心とした
投資案件は継続出件の見込み
環境関連事業への投資拡大および省エネ法対応への動きは活発化

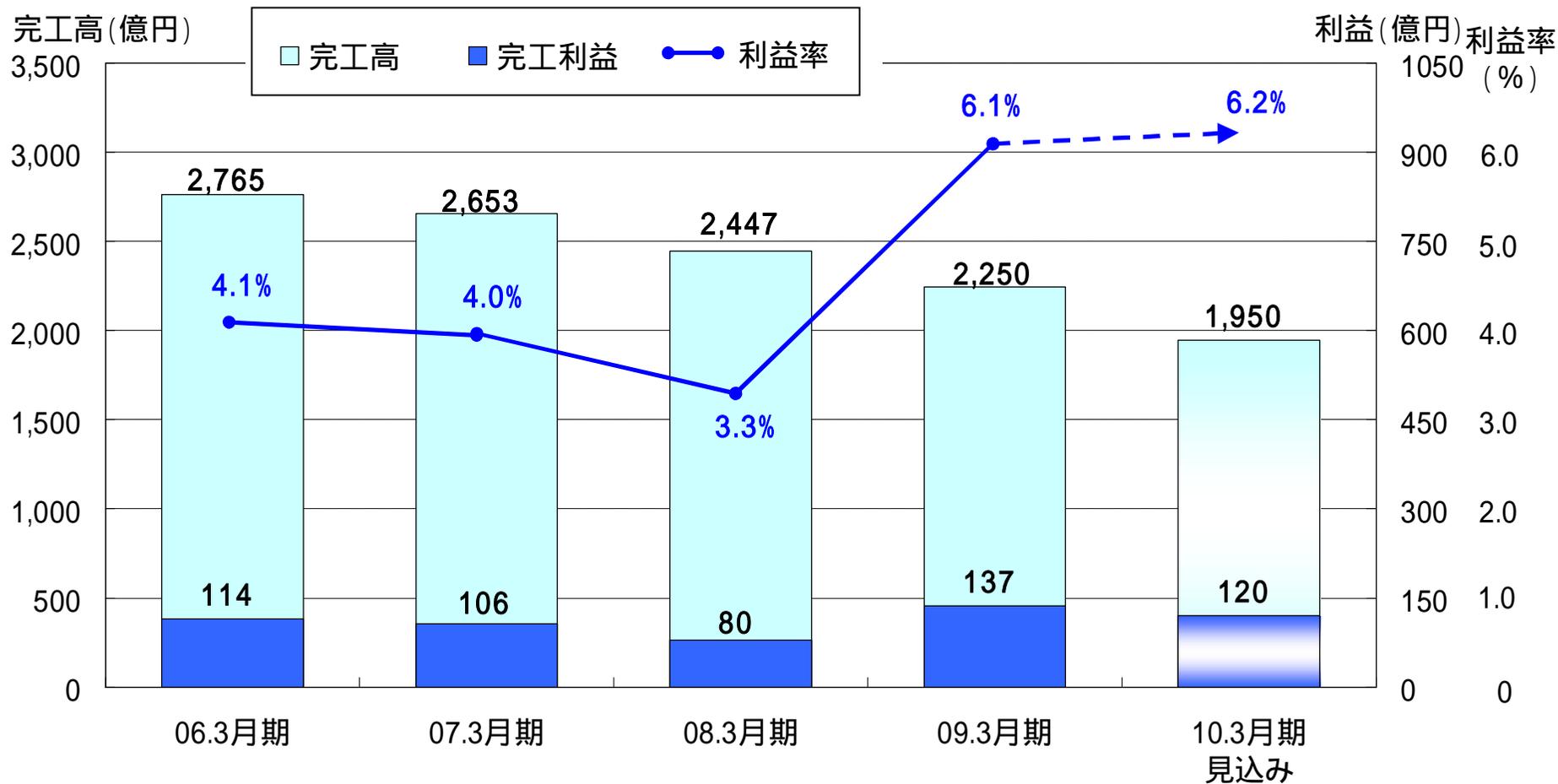
その他

09.3月期後半から、鋼材を中心に物価下落
再開発事業への補助金交付による事業活性化

建築工事 完工高と完工利益の推移



利益重視施策の徹底



不動産による 売上げおよび利益を除く

2009年度の重点施策（建築事業）



1. 技術力・提案力を活かした受注の拡大

公共工事

総合評価案件への全社情報一元化による取組み

リニューアル

ネットワーク型技術営業の展開推進
省エネ、耐震改修を見込んだコンサル業務強化

物流 / 商業施設

新技術・新工法によるコスト競争力を武器とした
提案型受注の強化

集合住宅

与信管理と選別受注の徹底
実績を活かした新規取引先への積極提案

総合力

土木との連携強化によるエネルギー、鉄道関連
施設への取組み
3D (BIM) 技術の適用拡大
(ファシリティマネジメント、省エネ提案への活用)

2. 利益創出体制の強化

クッション・ゼロ^{*1}への取組みによるムダの排除
TPMsを利用したネットワーク型施工による生産性向上
直備および協力会社との業務連携による内製化への取組み

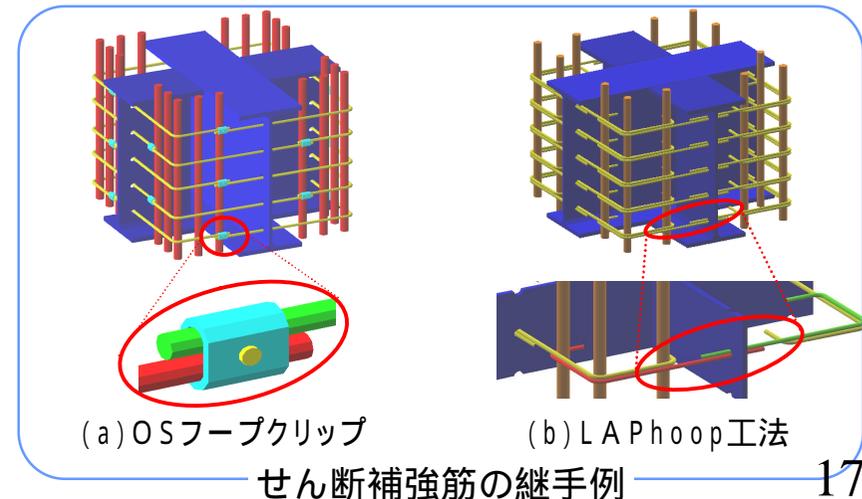
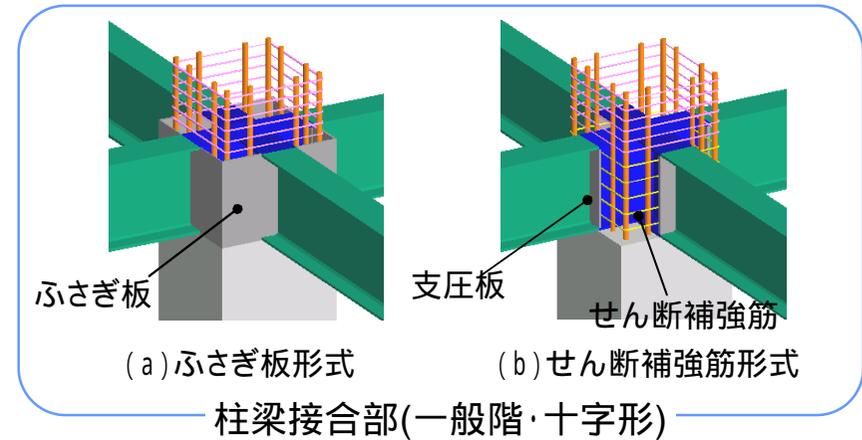
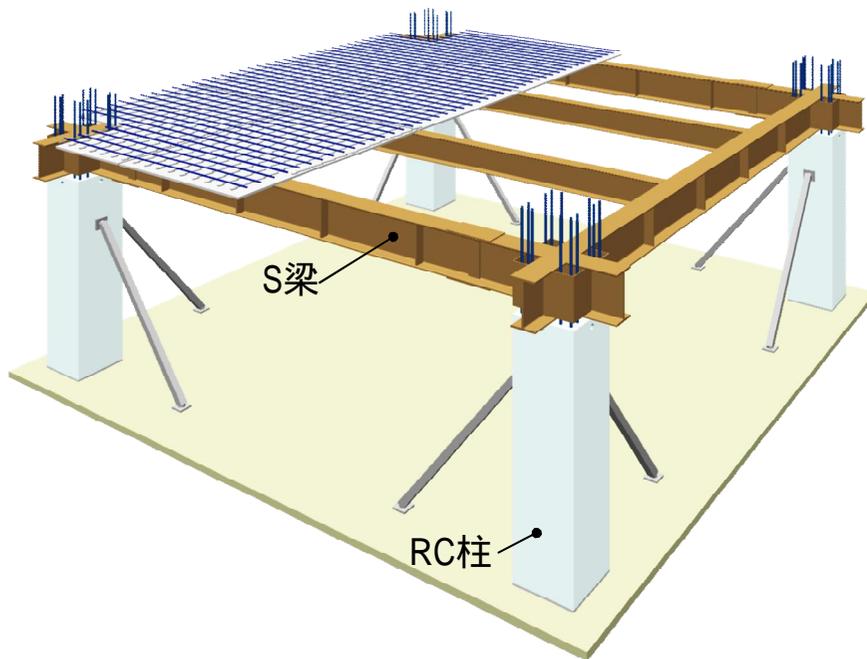
*1 余裕を一切見込まない予算管理により、原価を透明にしてムダを排除する活動

[技術開発]MaRCS による躯体コストダウン



MaRCS (前田式 柱RC梁S接合構法)

柱を鉄筋コンクリート(RC)造, 梁を鉄骨(S)造とした「MaRCS」の開発により従来工法(S造、SRC造)に比べて **躯体費のコストダウン**を実現



躯体費コストダウンの例

A物流センター : 93%

Bショッピングセンター : 92%

鉄骨造の場合の躯体費を100%として計算

- 2 . 土木重点実施事項について

公共工事

国交省の調査基準価格が約1～2%アップ(85～86%)
地方自治体の総合評価方式導入が本格化
経済危機対策で平成21年度公共工事は上半期前倒しで予算執行

民間工事

電力会社の設備更新や耐震工事などへの投資は前年比8%増
自然エネルギー開発、LNGインフラ整備の投資は今後も続く
リニア建設、整備新幹線延伸、都市部鉄道の地下化・高架化事業は継続

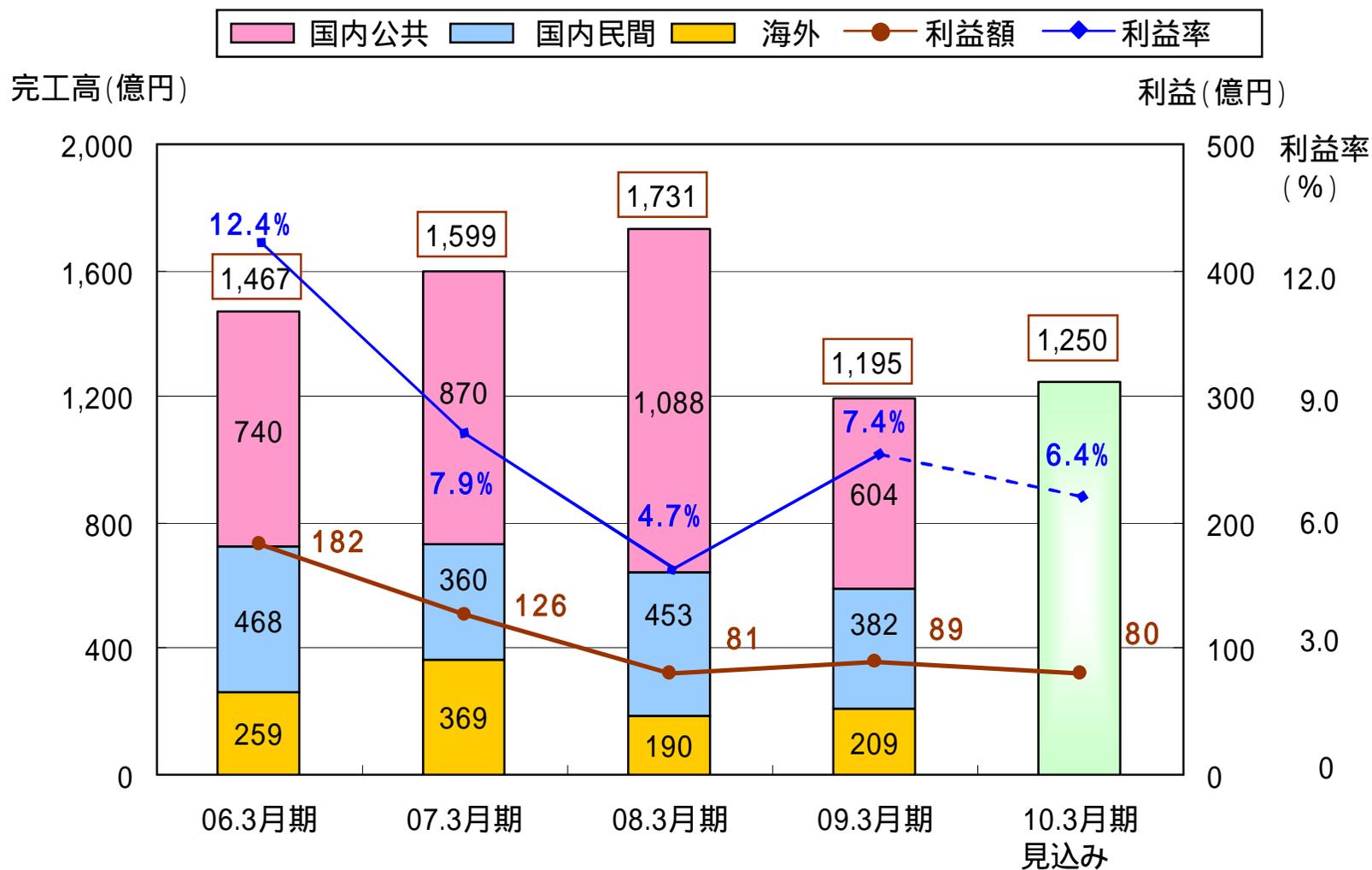
海外

中国の景気対策で香港に大規模投資(ビッグプロジェクトの始動)

完工高と利益の推移



安定的な利益の確保へ



・環境経営No.1への取り組み

建設業において“環境経営No.1”を目指す



「前田と言えば環境、環境といえば前田」

誠実な企業活動

オフィス活動・施工活動など、日常業務における環境負荷低減

技術で環境保全

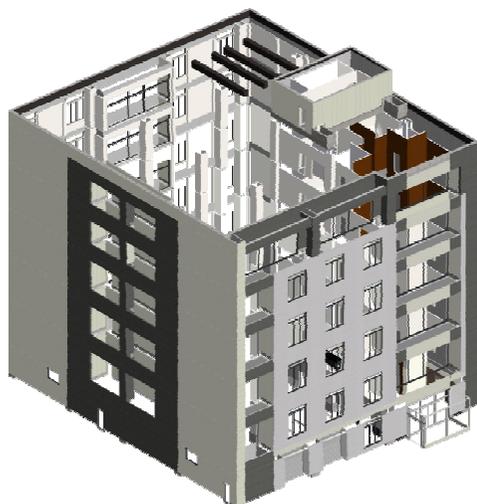
環境戦略に則った環境技術の開発・環境ビジネスへの挑戦

意欲的な個人

会社を離れ、一市民・地球人としての環境貢献活動の実施



[3D設計の適用拡大]FM, 省エネ提案への活用



3D-CAD
(BIM)

資材数量データ
部材の物性値データ
面積情報
解析・計算条件情報
設備機器能力情報
エネルギー消費量情報 等

省エネ技術提案ツール 「E-カルテット」

省エネ技術提案ツール
Energy
E-カルテット
Evaluation

建築・設備の省エネルギー計画
環境負荷の判断(LCCO₂)

前田建設工業株式会社

簡易省エネ診断 ・提案ツール

省エネ手法検討・提案
既存設備の最適化提案

エネルギーの効率化

消費先	高効率化設備	削減割合(%)
照明	LED照明	50
空調	空調機効率アップ	10
空調	空調機効率アップ	20
合計		100

様々な省エネ手法の組み合わせにより、空調設備におけるエネルギー消費量を55%削減できる試算

エネルギー効率で従来比2倍以上の可能性がります

一般仕様 100
省エネ仕様 88

削減 60%
高効率LED照明
制御
ゾーニング・機器の最適化

熱流体解析

建物配置検討
屋外環境検討

機器の配置検討
運転の最適化検討

FM (ファシリティマネジメント)

維持管理コストの試算
メンテナンス・補修計画

PAL計算

省エネルギー計画書

官庁提出書類の省力化

【注意事項】

この資料には、2009年5月14日現在の将来に関する見通し、及び計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用下さい。

